

マーケットの動き（2021年7月6日～7月9日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。

主要国では経済活動正常化への期待が高まる一方、コロナ危機後の景気反発局面はピークアウト入りしたとの見方も強まり、日本円は円安基調がストップしました。

ユーロは、対円で下落した一方、対米ドルでは上昇しました。

投資環境見通し（2021年7月）

円に対して、米ドルは緩やかに上昇、ユーロは一進一退の動き

米ドル：米国では、ISM景況感指数が製造業、非製造業ともに前月から上昇し、高水準で推移しています。景気回復見通しに加え、FRBによる利上げ開始時期が注目される中、米ドルは円に対して緩やかに上昇するとみています。

ユーロ：ユーロ圏では製造業PMIは高水準を維持し、サービス業は上昇基調となっています。こうした中においても、ECBは引き続き緩和的な金融政策を維持する姿勢を示しており、ユーロは円に対して一進一退の展開を予想しています。

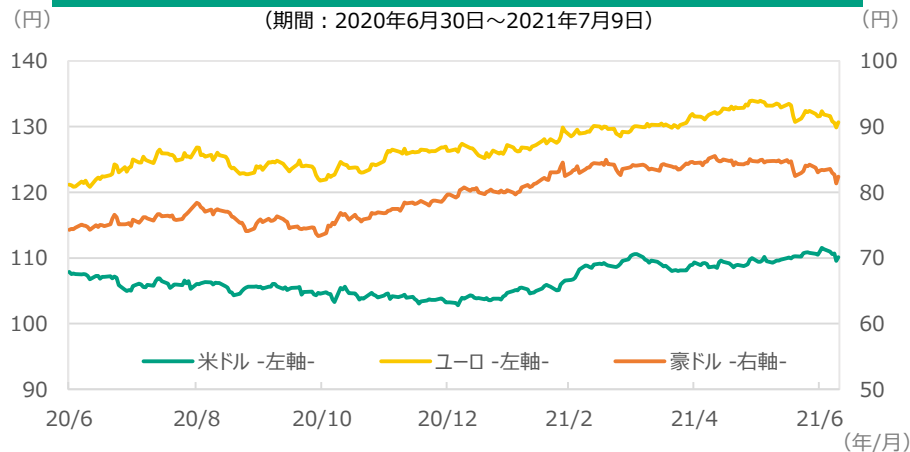
	7月9日	変動幅（円）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	110.14	▲1.18	0.54	5.85	2.86
ユーロ/円	130.68	▲1.15	▲2.88	3.95	9.51

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

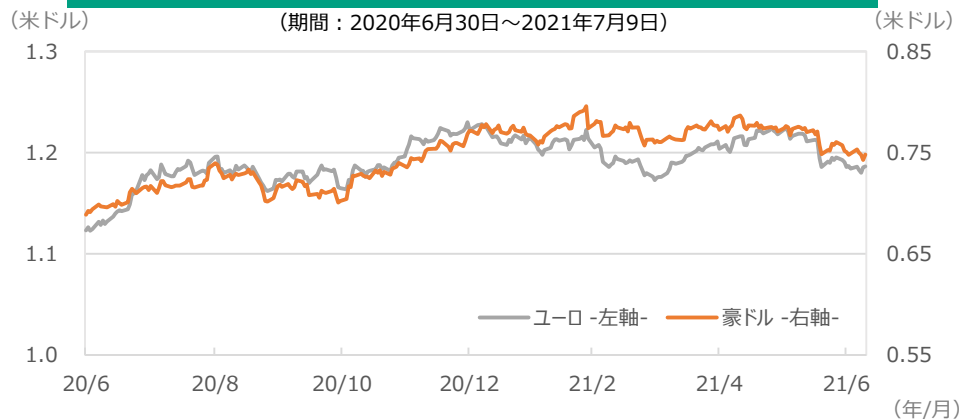
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202107_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>